

柏市訪問について 一-喬 則皓

柏市訪問は私にとって今回が初めてでしたが、きっと承德と同じようにきれいなところだろうと想像していました。今年の涼風が吹き始めた美しい8月に、私は日本行きの飛行機に乗りこみました。柏市に着いたのはもうかなり遅い時間でしたが、思いがけず、柏市のおじさん、おばさん、おじいさん、おばあさん達はそこでずっと待っていてくれ、熱烈歓迎してくれました。とても感動的でした。記念撮影後に、私は迎えに来たホストファミリーの優しいおじいさんとおばあさんと一緒に日本の家に行きました。家はそんなに大きくはないけれど、和やかで気持ちの落ち着くところでした。おじいさんとおばあさんは70歳過ぎだと聞いていましたが、とても元気でエネルギーが豊富な方達でした。



二日目に、栄養満点の朝食後、私たちの交流訪問は正式にスタートしました。まず、柏市長秋山浩保先生への表敬訪問です。私の想像と違って、市長先生はとても若くて優しい方で、私達に記念品として柏レイソルのマフラーをくださり、サッカーファンの私にとっては、その喜びは言い表せないほどでした。その後、議会への表敬訪問も行い、議長さんや議員の皆さんとお会いし、記念撮影をしました。議会室のベランダからは柏の街並みや風景を見ることができ、とても綺麗でした。

一段落すると、私たち一行は江戸時代の歴史建造物一吉田邸へ見学に行きました。その邸宅は全て木と藁で作られ、凜として、スケールが大きく、感服しました。

お昼時には、私たちはセブンパークアリオへ行き、そこでとっても美味しい日本食うどんを食べました。記念として、自分に綺麗なペンを買って、日本でのショッピングタイムを存分に楽しみました。

午後は柏観光を行い、汚染の全くない綺麗な自然の中で、湖の岸で白鳥と遊んでいる子供達を見て、思わず、自分もゆったりとした良い気持ちになりました。夕方、私達は初めての生花を体験しました。作った綺麗な生花に、自分の名前を書き、ホストファミリーへのプレゼントとして送ることにしました。本当に楽しかったです。

夜の歓迎晩餐会はバイキング式で、食べながらみなさんとの交流を行いました。そこで、私たちは自分の特技を発表し、みなさんと一緒に柏舞踊を踊りました。とても充実とした1日でした。

三日目は、ホストファミリーの皆さんと一緒に過ごすフリータイムでした。私は胡鑫のホストファミリーと一緒にモノレールに乗りました。モノレールに乗って、話題の秋葉原へ行きました。そこは人が多くて、大都市の感じがとてもしました。そこでも日本のグルメを楽しんでから、私は生まれて初めての猫カフェへ行きました。そこには寝ている子猫や食事を奪い合っている子猫など、たくさんの子猫がいて、生き生きとして可愛くて、帰る時には別れを惜しまました。

一日中、存分に遊んで、お腹も満腹感な状態で柏に戻りました。電車の中で私は、山

井なおさんと色々な話をして意気投合し、自分の夢や将来への思いなどを語り合いました。その中でなおさんの、日本の女の子の穏やかで上品な一面を伺うことができました。

柏に戻ってから、私たちは地元の豪華な夕食を共にし、別れを惜しんでいました。私は「再見（さようなら）」を言いたくありません。彼女達は、私にとって本当の友になれたと思っています。いつか、必ず日本に戻り、彼女達に会いに来ます。

四日目、私たち訪問団一行は、東京見学をしました。行先は浅草寺です。お寺で神様にもお願いもしたので、ぜひ叶って欲しいなあと思います。その後、私達は観光船に乗りました。台風の影響で雨が降り始めましたが、涼しくて、両側の景色は雨の中尚更美しさを増していたように見えました。下船後に、私達はゆりかもめに乗って、東京葛西臨海水族園へ行き、水族館を見学し、歴史ある東京駅を経由して柏に戻りました。そこで、ずっと私たちと共にした洪怡然お姉さんと別れることになりました。彼女は優しく、優秀で、東京大学に留学している学生です。将来、私も彼女のように、日本留学したいと思っています。頑張ろう、自分！

夜、ホストファミリーのお宅で夕食を共にし、おじいさん、おばあさんはたくさんのお菓子やパンなどを買ってきてくれました。本当に美味しかったです。私達は食べながら、いろんなことをしゃべり、記念撮影などもしました。間もなく別れの時間が訪れることを思うと、とても悲しかったです。このような楽しい時間が永遠に続けばいいのにと心の底から思いました。

五日目、私は贅沢な朝食をとってから、ホストファミリーのみなさんに別れを告げ、帰国の途につきました。ここでのすべてのできことは、美しく夢のようで、あっという間でした。

今回の訪問を通して、私はたくさんを学びました。

環境を大切に、ゴミを分別して捨てること

日本の町中、殆どゴミを見つけることはできません。ゴミ箱すら見る事がほとんどありません。ゴミの捨て方も、中国とは大きな違いがあります。かなり細かく分類して捨てるのです。また、ゴミの持ち帰りは一般的で、ポイ捨ても殆どありませんでした。建築現場すら、布が綺麗に覆い被せられていて、粉塵などありませんでした。

人を最優先に考え、設備をより周到に

日本の町中には、いろいろな標識があり、外国語やイラストを併記していて、非常にわかりやすくなっています。たとえ初めて日本を訪れた外国人でも、迷子にはならないと思います。トイレの中にも、障害者用のトイレなど細かく表示されてあるので、それを見ると、人への優しい気持ちが伝わってきます。

勤勉で、優しい人たち

何日間かの訪問を通して、柏市民の皆さんの心込めたおもてなし、優しさに深く感動しました。着いた日の夜、迎えに来た皆さんは中国語で書いた歓迎用横断幕や中国国旗

を持って、ずっと待ってくださいました。その暖かさと気配りを思う度に胸が熱くなります。滞在中に、ほぼ毎日付き添っていただいた方がいて、疲れも顧みず、町の案内や、お土産品のアドバイス、暑さで喉乾くかもしれないと心配して、飲料水まで用意していただきました。その人の優しさ、仕事に対する真剣さには感服しています。

栄養豊富、健康な食事

ホストファミリーの朝食は、栄養満点で、非常にバランスの良い健康食でした。野菜、果物、パン、ミルク、スープ、そして、ジャムなどいろいろなものがそろっており、さっぱりで、美味しく、正真正銘の健康食だと思います。

ルールを守り、他人のことを優先に考え

日本の街中、ほとんどクラクションの音を聞こえません。車にクラクションがついてないわけではなく、運転中に、無理な割り込みやルール違反などの迷惑行為が殆どないためです。駅では、すごく混み合う現象もあまりなく、電車でもみんな、秩序良く、降りる人たちを優先してから、乗る人は順序良く乗車するのです。電車内でも、大声でしゃべる人はいなくて、みんな、静かな環境を保とうと協力しているのです。レストランでも、お客さんが食事後に自主的に食器を回収コーナーに戻して、片付けの協力をしています。小さなルールですが、みんなですべて守っているから、このような気持ちの良い環境ができるのではないのでしょうか。

興味、能力を養う

日本の高校は、朝の8時半に登校し、午後の3時ごろ下校すると聞きました。このほか、長期休暇もあり、主な教科以外にも、副教科もたくさんあるようです。しかし、日本の高校生は、この沢山ある自由時間を遊んだり、無駄にしたりせず、いろいろな社会活動やスポーツ、芸術、アルバイトなどの活動に使うのです。また、日本では、サッカー場、体育館、ラグビー場などの施設も豊富で、若者の総合的、全面的な育成にはとてもいい条件になっていると思います。このため、日本のサッカーはW杯で輝かしい成績を残せたんだと思います。

誠実さの重視

日本のスーパーマーケットでは、警備員はほとんど見当たりません。商品を盗もうとするならとても簡単だと思いますが、そんな人はいません。カバンや袋など自由に持ち込み可能でも、盗まれる心配がほとんどないのです。

読書好きで、民度が高い

町中歩いても、携帯をいじる人が少なかったです。電車の中で、携帯で遊ぶ人も少なく、本を読む人が多いように感じました。

今回の訪問を通して、日本の良さを沢山知ることができました。これから私は頑張ってもっとその良さを学び、いつかまた日本を訪れる機会があるよう期待しています。短い訪問期間でしたが、すべての体験が私の宝物となりました。(2018年8月26日)